

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 3 月 31 日

仕事の内容	交通擁護ボランティア保険加入事業			
担当部署・課長名	学校教育	課	学務係	課長名 岩本 尚史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10 教育費	項 1 教育総務費	目 3 教育指導費	事業 6 通学路等学校安全対策事業
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	学童交通擁護ボランティア			→ 学童交通擁護ボランティアの人数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	安心して活動することができる。			→ ボランティア保険の加入率
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	ボランティア活動に従事している方を対象に、社会福祉協議会のボランティア保険に加入する。			→ ボランティア保険に加入した学童交通擁護ボランティアの人数

2 指標の推移		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標	
	対象指標	①の数値	人	557	560	540		
	成果指標	②の数値	%	100	100	100		
	目 標	②の目標値	%			100	100	100
		目標値設定の考え方	小学校全校において、調査に正確に回答する必要がある。					
活動指標	③の数値	人	557	560	540			

3 経費	事業費		円	167,100	168,000	162,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	167,100	168,000	162,000	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
		所要人数(再任用)	人	0.00	0.00	0.00	
		職員人件費(再任用以外)	円	417,000	414,900	411,650	
職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	584,100	582,900	573,650		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	平成11年度までは、小学校9校13か所に学童交通擁護員が配置されていたが、平成12年度からは、信号機の設置されていない七小学区の1か所を除き廃止された。それ以降は、地域の方々のボランティア活動が見守り活動の中心となっており、その活動を後押しするために、本事業を開始したものである。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
他府県において、登下校中の児童生徒が事故に巻き込まれる重大事故が発生したことから、通学路の安全に関心を持つ保護者は増加している。		

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	通学時の見守り活動や安全の確保については、議会からも一般質問等を通じて適切な運営等の要望がなされている。	

仕 事 の 内 容	交通擁護ボランティア保険加入事業			
担当部署・課長名	学校教育	課	学 務 係	課長名 岩本 尚史

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組んだ	取組手法	③事業協力、⑤補助・助成	
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
特になし				
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。			
	学校により、学童交通擁護ボランティアの人数に大きな差があり、取り組みの状況にも差がある。			
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	通学路の安全確保は重要な問題であり、地域の関心も高まっている。 今後も、ボランティアの方々の負担軽減に配慮しつつ、少しでも多くの方の見守りと活動への理解・協力が得られるように、教育委員会だより等を通じてボランティア活動を紹介する。			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。			
	機会を捉えて、学童交通擁護ボランティアの活動と効果を広報し、参加人数が少ない学校への声かけ、働きかけを継続的に行う。			
(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成 果	成果を維持する。		経 費	仕事の経費は維持する。